

令和7年度仁淀川清流保全推進協議会

美しい景観を保全するワーキング 要旨

日時：令和7年6月5日（木）10:00～12:00

場所：佐川町役場2階 大会議室（高岡郡佐川町甲）

参加者数：8名

所属等：パートナーシップ交流会仁淀川分会、水生生物研究家、によど自然素材等活用研究会、仁淀川の緑と清流を再生する会、国土交通省高知河川国道事務所仁淀川出張所、NPO法人仁淀川お宝探偵団、事務局（高知県自然共生課）

1 議題

- (1) 仁淀川清流保全計画の取組内容の進捗状況（報告）
- (2) 今年度の取り組みについて（協議）
- (3) その他

2 資料

- 資料1 今年度の取り組みについて（協議）
資料2 第2次仁淀川清流保全計画（改訂3版）線表
参考資料 仁淀川清流保全計画の取組内容の進捗状況（報告）

3 主な協議内容（令和7年度の具体的な取組について事務局案を元に検討）

- ・仁淀川一斉清掃について
- ・仁淀川スタイルの発信について
- ・水質マップ・ごみマップの情報発信について
- ・仁淀川流域ニュースレターの発行について
- ・その他

4 協議結果（今後の取組の方向性等）

- (1) 「仁淀川一斉清掃」イベントについて
 - ・10月25日（土）開催について異論なし
 - ・参加者を増やしていくために市町村との連携強化を図っていく必要（清掃活動データの集計方法の検討を含む。）
- (2) 「仁淀川スタイル」の発信について
 - ・7～9月の間で計10回程度発信していく
- (3) 「水質マップ・河川ごみマップ」の情報発信について
 - ・引き続き調査を継続。マップ等の体裁は現状を維持
- (4) 「仁淀川流域ニュースレター」（年4回発行）について
 - ・毎号河川利用マナーについての記事を掲載していく
- (5) その他検討したこと
 - ・美しい景観保全につなげるための「看板の設置・集約」、「看板デザインの統一化」、「マナーアップの啓発」等の情報発信が必要
 - ・次回のワーキングでは、ごみを捨てさせないために効果を発揮する手段や情報発信等について検討していく。また、別途立ち上がるプロジェクトチームの動き等も共有し、観光サイドとの共通ルールや認識を持つことができるよう連携していく

【議題概要】

座長	<p>【ごみ勉強会について】 資料に記載以外の学校からの要望や他流域での取組で把握しているものがあれば聞かせてほしい。</p> <p>→（事務局） 以前実施していた学校等に対して年度当初に意向確認を行ったが、希望なし。 四万十川流域では大人を中心とした海岸清掃やカヌーを利用した河川のごみ回収などを行っている。物部川流域では、海岸でのプラごみ調査と清掃活動をしている。</p> <p>→（意見） 香美市エコクラブの子どもたちは、自主活動の一つとしてごみに係る活動を継続的に行っている。</p>
事務局	<p>【仁淀川一斉清掃の実施について】 流域市町村と調整した結果、令和7年10月25日（土）に実施する方向性。</p> <p>→（座長） 実施日について異論なし。</p> <p>→（意見） 参加者へのノベルティなどはあるのか。仁淀川町クリーン大作戦では、昨年度まで参加賞として缶バッジを配布。今年は雨で中止となったが、マルシェとのコラボで清掃参加者に100円割引券を配布する計画があった。参加者を増やすために何かアピール方法を検討した方がよい。</p> <p>→（意見） 仁淀ブルー体験博では、参加者に仁淀ブルーサポーターの名刺を配布している。それを参考に考えていけないのではないか。</p>
事務局	<p>【自然共生課 Facebook での「仁淀川スタイル」の発信について】 7月～9月の間で計10回程度発信予定。</p> <p>→（座長） 異論なし。</p>
座長	<p>【水質マップ・河川ごみマップの情報発信について】 国土交通省のHPでごみマップを公開しているが、効果は出ているか。</p> <p>→（意見） ごみが捨てられる場所には看板を設置しているが、あまり効果は感じられない。</p> <p>→（意見） どうすれば捨てないのかについて協議していきたい。どうすればうまく伝わるのか等。団体が集まって、観光サイドとの共通ルール、認識を持つことが出来るとよい。</p>

座長	<p>→ (座長) ごみを捨てさせないための効果的な情報発信について、次回のワーキングで具体的に検討したい。</p> <p>【仁淀川流域ニュースレター掲載内容について】 掲載内容についてイメージしている案はあるか。</p> <p>→ (事務局) 仁淀川本川や支川など川毎に独自のルールがあると思うので、それについて紹介するのはどうか。例えば、駐車場所や遊泳禁止区間の周知など。</p> <p>→ (意見) 宮崎キャンプ場では、夏休み期間中に事業者、一般客、子どもエリアに区間を分けて、役場がロープをはり利用周知をしている。子どもエリアは上手の浅瀬、次に一般客、業者の並び。アウトドアセンターが管理し、2年間くらいこの体制で取り組んでおり、大きなトラブルは発生していない。</p>
座長	<p>【看板の設置について】 看板をたくさん設置すれば良いわけではない。景観を保全するためには、看板を集約することも検討すべきと思う。</p> <p>→ (意見) 看板を設置しても注意して見る人は少ないと感じる。</p> <p>→ (座長) 看板のデザインに統一性を持たせても良いかもしれない。</p> <p>→ (意見) ごみを捨ててはいけないことは誰もが理解しているが、捨てる人はそれを承知で捨てている。看板設置以外の他の抑止力を検討しなければならない。</p> <p>→ (意見) 外国人にも分かりやすい周知方法も検討すべきである。</p> <p>→ (座長) 文字情報だけでは伝わらない場合もある。梶ヶ森の掲示物ではピクトグラム(絵文字)を活用している。</p>
座長	<p>【マナーアップ等の啓発について】 それぞれの団体が主催しているイベントではどのように情報発信をしているか。</p> <p>→ (意見) 仁淀川国際水切り大会では、申し込み完了メールに仁淀川のルールを記載している。これまでトラブルは発生していない。</p>

意見	<p>→ (座長) ルールの掲載内容はどのように作成したのか。何か参考にしたものがあるのか。</p> <p>→ (意見) トラブルがあれば情報を足していく等リアルを積み上げ、色々な状況を想定し、チーム全員で気になる点を列挙してやっている。</p> <p>→ (意見) お客様の安全・快適が最優先だが、自分は「植物を取らない」等のルールは伝えている。統制が取れている団体は良いけれども。</p> <p>【水質と景観について】 地域の旧市街地では合併浄化槽がないため、河川水量が多い時は良いが、少ない時は影響が大きい。漁協関係者の監視体制が出来ればよいが権限はない。制度を含めて考えていく必要。</p>
座長	<p>【今後のWG検討事項について】 景観の取り組みや今後のワーキングで話し合いたいことはあるか。</p> <p>→ (意見) 情報が発信されていても受信側には届いていない現状がある。情報発信の強化に取り組むべき。看板設置や発信ツールの検討を行う必要があるが、それには金銭やマンパワーといった課題が伴う。</p> <p>→ (座長) 現代は情報が溢れており、インターネット上に情報を発信することは膨大な情報の中に埋もれる可能性がある。確実に届けるには、一対一くらい関係がないと難しい。仁淀川に関する情報を知りたい人が確実に情報を入手できるよう、あらゆる情報を紐づけていく必要がある。</p> <p>→ (意見) 仁淀川のイベント参加者に仁淀川に関する情報を渡す仕組みを作れたら良い。</p> <p>→ (意見) 統一シンボル、統一デザインの検討はどうか。視覚的に風景とマッチしたもの等。</p>
意見	<p>【河川敷への捨て猫の問題について】 仁淀川では最近捨て猫が増えている。特に奥田川や波介川の上流あたりが多い。</p> <p>→ (座長) 個人的に気になっているのは、外来種のヨシススキが増えていること。3メートル以上の高さがあるため、増えると景観が大きく変わってしまう懸念がある。</p> <p>→ (意見) オオキンケイギクも増加している。オオフサモも心配か。</p>

	<p>→ (座長)</p> <p>かつてオオフサモの駆除を3年間徹底的にやったが、駆逐できなかった。継続しなければ根絶は難しいと感じた。</p> <p>【ゴミの多いところ】</p> <p>八天大橋の左岸側下流は高水敷に駐車場、広場があり利用しやすい環境が整っている。そのため河原は夏場になると水遊びやキャンプなどの利用が増える。そのためか高水敷の広場には時折ゴミが捨てられ、それが呼び水となりゴミが溜まる。</p>
--	--

閉会